

動物実験に関する自己点検・評価報告書

千葉科学大学

2023年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉科学大学動物実験規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験委員会規程（2008年3月24日施行）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）と環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）に則って、千葉科学大学動物実験規程、同物実験委員会規程が定められている。昨年度の外部検証において、管理者の定義を含む機関内規程の文言の不整合が指摘され、公私動協による最新の機関内規程（雛形）を参考にした修正が推奨された。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>現時点で運用上の問題はないため、動物実験規程の早急な改訂は予定していないが、上記の各関連法令、指針、雛形等の改訂状況ならびに次回の外部検証申請を考慮し、改訂案の作成を進めたい。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉科学大学動物実験規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験委員会規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験委員会委員名簿 ・千葉科学大学遺伝子組換え実験安全委員会委員名簿
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針及び飼養保管基準に適合した動物実験委員会が置かれている。昨年度の外部検証の指摘に基づいて、実験動物管理者を含む動物委員会の委員と遺伝子組換え実験安全委員会の委員を兼務させることとした。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉科学大学動物実験規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験計画審査要領 ・千葉科学大学動物実験計画書（様式1） ・動物実験結果報告書（様式2） ・動物実験計画（変更・追加）承認申請書（様式3） ・動物実験（終了・中止）報告書（様式4） ・飼養保管施設設置申請書（様式5） ・動物実験室設置申請書（様式6） ・施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届（様式7） ・実験動物の譲渡等に関する承認申請書（様式8）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉科学大学動物実験規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験計画書（様式1） ・千葉科学大学動物実験計画審査要領 ・千葉科学大学遺伝子組換え実験安全管理規程 ・千葉科学大学遺伝子組換え実験安全委員会規程 ・千葉科学大学バイオセーフティー実験室利用規程、 ・千葉科学大学病原微生物等管理規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

「遺伝子組換え動物実験」については、動物実験計画書に遺伝子組換え動物実験に関する情報を記載する項目があり、必要な対応が行われているか確認できる体制になっている。病原体の「感染動物実験」については、病原微生物等管理規程の整備およびバイオセーフティー委員会の設置・運用開始等の実施体制が整備されている。「放射性同位元素・放射線使用実験」および「化学発癌・重金属実験」は、原則として認めていないことが、動物実験計画書および動物実験計画審査要領に明記されていることは、外部検証において評価された。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・千葉科学大学動物実験規程(2008年3月24日施行)
- ・飼養保管施設設置申請書(様式5)
- ・動物実験室設置申請書(様式6)
- ・施設等(飼養保管施設・動物実験室)廃止届(様式7)
- ・動物飼育管理者の仕事及び飼育手順

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

飼養保管施設の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、飼養保管施設には標準作業手順書として、動物飼育管理者の仕事及び飼育手順が定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉科学大学動物実験規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験委員会規程（2008年3月24日施行） ・千葉科学大学動物実験計画審査要領 ・動物実験委員会議事録 ・実験動物飼養保管施設視察記録
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>千葉科学大学動物実験規程等に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項に関して審議した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度千葉科学大学動物実験計画書 ・2022年度動物実験計画（変更・追加）承認申請書 ・2022年度動物実験室設置申請書 ・2022年度動物実験結果報告書 ・2022年度動物実験（終了・中止）報告書 ・2022年度動物実験自己点検票（様式2-1） ・動物実験委員会議事録 ・動物実験計画審査記録
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、動物実験結果報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 2021 年度千葉科学大学動物実験計画書
- ・ 2021 年度動物実験計画（変更・追加）承認申請書
- ・ 2021 年度動物実験結果報告書
- ・ 2021 年度動物実験（終了・中止）報告書
- ・ 2021 年度動物実験自己点検票（様式 2-1）
- ・ 動物実験委員会議事録
- ・ 動物実験計画審査記録
- ・ バイオハザード用高圧蒸気滅菌器の法定／自主点検記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

遺伝子組換え動物実験について、法令に適合した P1A 動物施設であることを確認した。また、該当する実験について、事故等の報告はなかった。病原体を用いた感染実験は実施していない。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 動物飼育管理者の仕事及び飼育手順
- ・ 動物飼育週間観察報告書
- ・ 緊急時対応マニュアル
- ・ 微生物モニタリング報告書
- ・ 実験動物飼養保管状況の点検票（様式 2-2）
- ・ 2023 年度実験動物飼養保管施設視察記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適正に飼養保管されていた。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼養保管施設一覧 ・ 飼養保管施設設置申請書 ・ 施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届 ・ 動物実験施設入退出記録 ・ 温度・湿度・照度記録簿 ・ 空調設備自主点検記録 ・ 実験動物飼養保管状況の点検票（様式 2-2） ・ 2023 年度実験動物飼養保管施設視察記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 施設の設置時に動物実験規程が求める設置基準を満たしていることを委員会が確認している。実験動物飼養保管状況の点検票（様式 2-2）提出と委員会視察により、飼養保管施設が概ね適正に維持されている。空調設備等が老朽化しており、業者による定期点検と飼養保管施設の設備更新が望まれるものの、各飼養保管施設の維持管理状況は正確に把握されているため、外部検証において「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している」との評価を得た。
4) 改善の方針、達成予定時期 次年度以降ではあるが、空調設備の更新が予定されており、それに向け、動物実験施設運営委員会を中心に、ユーザー側の要望を取りまとめておくとともに、更新工事期間の動物の一時移設等の計画をしておくことが望ましい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年度動物実験教育訓練実施記録（実施日、教育内容、受講者数等） ・ 教育訓練資料・スライド ・ 動物実験施設教育・訓練受講者名簿（実地訓練修了証明） ・ 公私立大学実験動物施設協議会実験動物管理者教育訓練修了証
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練の実施記録等によって、基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。実験動物管理者は、公私立大学実験動物施設協議会実験動物管理者教育訓練を受講し、専門情報を習得した。実験動物を使用する教員については 5 年毎の教育訓練の受講が実施されている。また、飼養者に対して、DVD 視聴による教育訓練が実施された。さらに、外部検証の指摘に沿って、2023 年度の教育訓練において人獣共通感染症関する講義を実施した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉科学大学動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・ 千葉科学大学ホームページ／情報公開 (https://www.cis.ac.jp/information/disclosure/index.html)
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、千葉科学大学における動物実験規程等の情報を公開している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>特になし。</p>
